

健康社会研究センター ニュースレター 第36号

2014. 7. 9 発行

◆ 目次 ◆

- 1 NEWS
- 2 HP が新しくなります～JAGES.NET について～
- 3 JAGES2013 データによる地域診断書・市町村間比較ツール・市町村内比較ツール・介護予防政策手がかり発見ツールをアップロードしました
- 4 第1回 JAGES2013 参加保険者向け報告会のご報告
- 5 主な研究成果発表
- 6 研究費採択のお知らせ
- 7 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

1 NEWS

- ・斉藤雅茂先生の論文が平成 26 年度日本老年社会学会論文賞を受賞しました。
斉藤雅茂・近藤克則・尾島俊之・近藤尚己・平井寛・高齢者の生活に満足した社会的孤立と健康寿命喪失との関連：
AGES プロジェクト4年間コホート研究より。「老年社会科学」35(3):331-341. 2013

2 HP が新しくなります～JAGES.NET について～

日本福祉大学健康社会研究センターの研究推進にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。
現在、研究費助成や JAGES 下で動いているプロジェクトが増えていることから、下記のようにホームページが分散してしまっています。情報を一元化すべく、現在 HP の改訂作業を行っております。最終的にはこれらの HP の情報がすべて www.jages.net を窓口として一元化されることを目指しています。JAGES の研究内容がわかりやく手に入るサイトを目指しておりますので、HP の見やすさや構造につき、ご希望がありましたら是非ご意見・ご要望をお寄せください。

<新ホームページ>

JAGES.NET <http://www.jages.net/>

<その他 JAGES 関連ホームページ>

日本福祉大学 健康社会研究センター <http://csu.umin.jp/>

介護予防政策サポートサイト http://www.yobou_bm.umin.jp/

介護予防 Web アトラス <http://www.doctoral.co.jp/WebAtlas/>

第6期介護保険事業策定のための日常生活基礎ニーズ調査データの分析支援のための HP
http://square.umin.ac.jp/kaigo_bm/kaigog/index-kaigo6.html

平成 22～24 年度介護保険の総合的政策評価ベンチマーク・システムの開発
http://square.umin.ac.jp/kaigo_bm/index2.html

平成 25 年度～介護保険の総合的政策評価ベンチマーク・システムの開発
http://square.umin.ac.jp/kaigo_bm/

日本老年学的評価研究 <http://square.umin.ac.jp/ages/>

3 JAGES2013 データによる地域診断書・市町村間比較ツール・市町村内比較ツール・介護予防政策手がかかり発見ツールをアップロードしました

地域診断書・シングルマップ・ダブルマップを作成し、HP 上で閲覧できるようにしました。

＜地域診断書＞

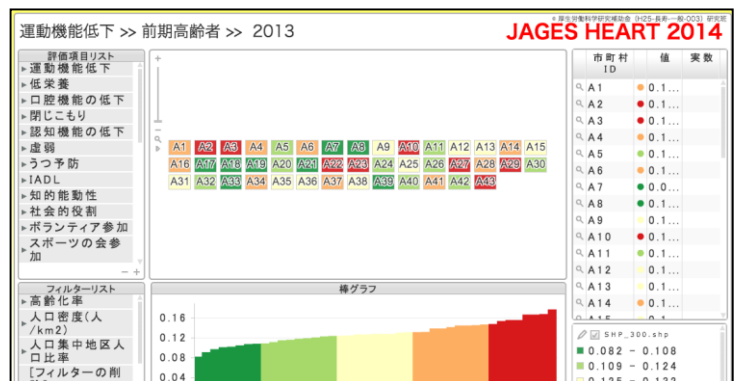
各自治体の指標ごとの位置、平均からの距離を一覧表にして見られるようになりました。

右記の赤い縦線が平均値、黒い菱形が該当自治体の位置になります。



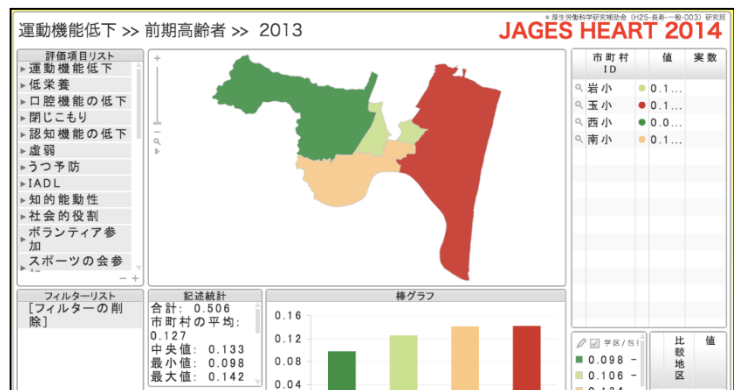
＜自治体間シングルマップ＞

指標ごとの各自治体の位置を把握することが可能です。



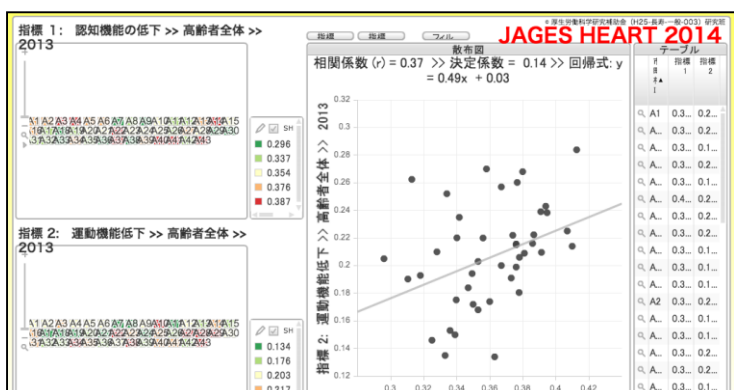
＜小地域内シングルマップ＞

各自治体内の重点地域を見いだすことができます。JAGES 参加自治体分については全て完了しました。



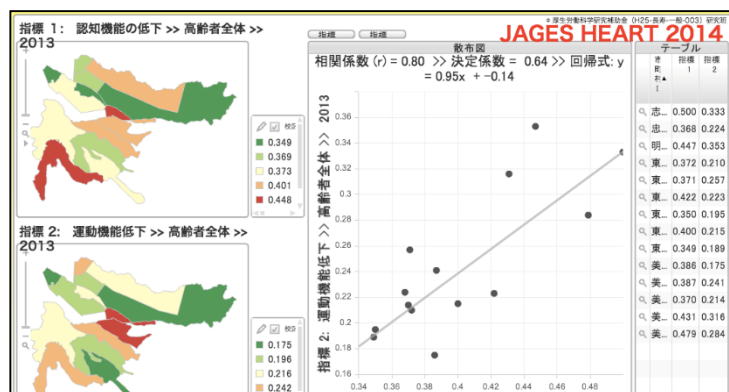
＜自治体間ダブルマップ＞

JAGES 参加自治体のデータを用いた相関分析が可能です。



<小地域(小学校区・包括区)ダブルマップ>

各自治体内の小地域同士、包括区同士のデータで相関分析をすることが可能です。地域の課題解決の手がかりをこのマップから見いだしてもらおうことが目的です。



4 第1回 JAGES2013 調査参加保険者向け報告会のご報告

6月17日(火)、日本福祉大学名古屋キャンパスにて JAGES2013 調査にご協力いただいた保険者に、第1回の結果報告会を行いました。今回は、23自治体から計50名を超える保険者担当者の方々にご出席いただきました。研究者も20名弱参加し、今回の調査に対する感想やご指摘をいただくとともに、今後このデータを保険者としてどのように活用していくかなど、活発な議論が行われました。

参加者の方からは、

「JAGES の調査も回を重ねるごとにほしい情報の形になってきている。これからも頑張してほしい」

「介護予防アトラス、地域診断書の結果を少しアレンジして用いている。住民の方々とのディスカッションのネタにすることができとても助かっている」

「こうしたデータをもらうだけでは不十分で、どのように各保険者が活かすかが問題。今後は各保険者でどのように活用しているかの事例をもっと知りたい」

など、活発なご意見をたくさんいただきました。

今後も指標の妥当性や整合性の検討、分析を進め、保険者の皆様と共に、今後の日本の介護予防政策に示唆的な情報をご提供できればと考えています。今回ご参加いただきました保険者の皆様、誠にありがとうございました。ご参加いただいた研究者の皆様、大変お疲れ様でした。今後ともよろしくお願いたします。



5 主な研究成果発表

<書籍>

- ① 稲葉陽二, 大守隆, 金光淳, 近藤克則, 辻中豊, 露口健司, 山内直人, 吉野諒三『ソーシャル・キャピタル「きずな」の科学とは何か』ミネルヴァ書房, 2014
<http://www.minervashobo.co.jp/book/b167996.html>

<論文等>

- ① Satoru Kanamori, Yuko Kai, Jun Aida, Katsunori Kondo, Ichiro Kawachi, Hiroshi Hirai, Kokoro Shirai, Yoshiki Ishikawa, Kayo Suzuki, the JAGES group (2014) Social participation and the prevention of functional disability in

older Japanese: the AGES Cohort Study. PLOS ONE.

10.1371/journal.pone.0099638 <http://www.plosone.org/article/info%3Adoi%2F10.1371%2Fjournal.pone.0099638>

- ② Yamamoto Tatsuo, Kondo Katsunori, Aida Jun, Suzuki Kayo, Misawa Jimpei, Nakade Miyo, Fuchida Shinya, Hirata Yukio, : Social determinants of denture/bridge use: Japan gerontological evaluation study project cross-sectional study in older Japanese. BMC Oral Health.2014, 14:63 DOI: 10.1186/1472-6831-14-63
- ③ 齊藤雅茂・近藤克則・尾島俊之・近藤尚己・平井寛:高齢者の生活に満足した社会的孤立と健康寿命喪失との関連: AGES プロジェクト4年間コホート研究より.『老年社会科学』35(3):331-341. 2013
- ④ Takahiro Hayashi, Katsunori Kondo, Kayo Suzuki, Minoru Yamada and Daisuke Matsumoto: "Factors Associated with Falls in Community-Dwelling Older People with Focus on Participation in Sport Organizations: The Japan Gerontological Evaluation Study Project," BioMed Research International, vol. 2014, Article ID 537614, 10 pages, 2014. doi:10.1155/2014/537614. 査読付き
- ⑤ 芦原ひとみ、鄭丞媛、近藤克則、鈴木佳代、福島慎太郎:自殺率と高齢者におけるソーシャル・キャピタル関連指標との関連-JAGES データを用いた地域相関分析-『自殺予防と危機介入』:31-40, 2014;34(1) 査読付き
- ⑥ 近藤克則:社会・人口構造の変化に対応する長寿科学の課題.長寿科学振興財団(編):在宅の高齢者を支える一医療・介護・看取り, pp. 33-40, 長寿科学振興財団, 2014 査読付き
- ⑦ 山本龍生、近藤克則、淵田慎也、相田 潤、中出美代、平田幸夫:質問紙調査による口腔関連指標の妥当性・愛知老年学的評価研究 (AGES)プロジェクト: 4-12, 長寿社会と口腔保健, 2012. 8
- ⑧ 永谷元基、近藤克則:Stroke unit を巡るエビデンス. 総合リハビリテーション, 42(3):199-204, 2014
- ⑨ 近藤克則:超高齢社会における地域包括ケアシステムとリハビリテーション科医の役割ー臨床から地域・エビデンスづくりまでー. Jpn J Rehabil Med 51(2):120-124, 2014
- ⑩ 徳永誠、近藤克則:脳卒中回復期における訓練時間とFIM 利得との関係ー日本リハビリテーション・データベースの分析. 総合リハビリテーション 42(3):245-252, 2014
- ⑪ 松本大輔、近藤克則、白石成明、杉山統哉、鄭 丞媛:脳卒中患者における早期リハビリテーション実施状況とリハビリテーション提供体制との 関連性ー入院曜日を考慮した分析での検討ー. 理学療法学 41(1):21-27, 2014
- ⑫ Seungwon Jeong, Yusuke Inoue, Katsunori Kondo, Daisuke Matsumoto, Nariaki Shiraishi: Formula for predicting FIM for stroke patients at discharge from an acuteward or convalescent rehabilitation ward.Jpn J Compr Rehabil Sci 5: 19-25, 2014.Doticon_blk_NEW.png
- ⑬ Shiraishi N, Suzuki Y, Matsumoto D, Jeong S, Sugiyama M, Kondo K, Kuzuya M.: The effect of additional training on motor outcomes at discharge from recovery phase rehabilitation wards: a survey from multi-center stroke data bank in Japan. PLoS One. 2014 Mar 13;9(3):e91738. doi: 10.1371/journal.pone.0091738. eCollection 2014.
- ⑭ 特集:健康格差とソーシャル・キャピタルの『見える化』医療と社会 24(1), 2014.
近藤克則:健康格差と健康の社会的決定要因の『見える化』ーJAGES 2010-11 プロジェクト p.5-20
尾島俊之:Urban HEART の枠組みを活用した介護予防ベンチマーク指標の開発 p.35-45
近藤尚己:地域診断のための健康格差指標の検討とその活用 p.47-55
相田潤、近藤克則:ソーシャル・キャピタルと健康格差 p.57-74
鈴木佳代、近藤克則:見える化システム JAGES HEART と用いた介護予防における保険者支援 p.75-85

<学会等>

- ① 伊藤美智予、近藤克則、藤井啓子:認知症ケアマネジメントにおけるケアの質評価指標の開発の試みー法人単位での比較分析(ベンチマーク)を通してー, 第 15 回日本認知症ケア学会,2014.5.31ー6.1,東京
- ② 齊藤雅茂・下茂祐大・奥田岳(ほか5名):認知症対応研修による店舗従業員の不安軽減と自信獲得;研修前後の質問紙調査より. 第 15 回日本認知症ケア学会大会,2014.5.31ー6.1,東京
- ③ 齊藤雅茂:要介護高齢者に対する地域での見守り活動の見える化(自主企画フォーラム:高齢になっても安心して暮らしていけるまちは本当に実現できるのか). 第 56 回日本老年社会学会. 2014.6.6ー6.8, 岐阜

<講演・シンポジウム等>

- ① 近藤克則: 講演 緩和ケアにおける課題と多面的・多元的・多重的評価の必要性. 第 19 回日本緩和医療学会学術大会, 2014.6.20, 神戸国際展示場・神戸ポートピアホテル
- ② 近藤克則: 広がる格差にどう向かうか〜いま期待される公衆衛生看護の力. 平成 26 年度日本看護協会 全国保健師交流集会, 2014.6.12, 名古屋マリオットアソシア
- ③ 近藤克則: 講演 健康格差社会への処方せん. 千葉民医連 新入医師歓迎会, 2014.5.24, ホテルグリーンタワー幕張
- ④ ニュージーランド・オークランド大学にて6名の JAGES 研究者が JAGES 研究成果の報告を行いました

6 月 3 日 シンポジウム

- ・ Katsunori Kondo: Visualization of Health Inequalities and Social Determinants of Health in Japan—JAGES Project. Symposium: Tackling determinants, changing behaviours: local and global perspectives on population health improvement, School of Population Health, the University of Auckland, 2014.6.3

6 月 4 日 ISSC (6th Annual Meeting, International Society for Social Capital research),

- ・ Jun Aida, Hiroyuki Hikichi, Katsunori Kondo, Ichiro Kawachi: Preliminary analysis of Iwanuma-project in JAGES: Change of social capital before-and after- the Great East Japan Earthquake and the tsunami and depression. (K Kondo presented on behalf of Jun Aida, Tohoku University)
 - ・ Naoki Kondo: Building social capital through local public health governance: case studies in Japanese urban and rural municipalities.
 - ・ Kokoro Shirai: Exploring possible mechanisms of social capital and health: social capital and health behavior
 - ・ Hiroyuki Hikichi, Naoki Kondo, Jun Aida, Katsunori Kondo, Ichiro Kawachi: Does participation in community health salons prevent incidence of functional disability? Results of a 5-year-long intervention study by JAGES project in Taketoyo, Japan.
 - ・ Yugo Shobugawa: Effect of Urbanization on elderly health behavior. Built environment and health using image survey in Niigata city.
 - ・ Yukinobu Ichida: A panel data analysis using JAGES data
- ⑤ 近藤克則: 高齢者医療制度の動向. 市町村アカデミー「高齢者福祉と介護保険」, 2014.5.27, 市町村職員中央研修所(千葉)
 - ⑥ 近藤克則: リハビリテーション患者データベース 到達点と課題. 上飯田リハビリテーションセミナー, 2014.5.16, 電気文化会館イベントホール(名古屋)

<報告書>

- ① 近藤克則, 小塩隆士, 尾島俊之, 近藤尚己, 三澤仁平, 村上慎司, 橋本英樹. 健康の社会的決定要因に関する国内外の調査研究動向—ソーシャル・キャピタル編—医療科学研究所, 2014.3 査読付き

<その他>

- ① 朝日新聞(知多版)に齊藤雅茂先生が担当している地域研究プロジェクトの取り組みが紹介されました。「大学@地域／教育 2014 高齢化現場訪ねて学ぶ」6 月 20 日付
- ② JAGES の研究成果が 6 月 6 日放送の NHK NEWS WEB で相田潤先生の「歯と要介護リスク」についての論文が取り上げられました。
- ③ 近藤克則: 健康日本 21 社会環境の整備編第3回「地域のつながり(ソーシャルキャピタル)の強化」: 健康づくり6月号, 2014.6
- ④ 近藤克則(2014)健康格差の縮小に向けた取り組み 月刊健康づくり, 2014 年 5 月号・6 月号 pp.11 公益財団法人健康・体力づくり事業財団
- ⑤ 東海市との共同研究事業について特別講和と調査報告会開催. 2014.5.30, 東海市大池健康交流の家
- ⑥ 読売新聞(名古屋圏)に齊藤雅茂先生が担当している地域研究プロジェクトの取り組みが紹介されました。「ラボ通信: 認知症ゲームで学ぶ; アプリ開発、周知活動」5 月 26 日付

- ⑦ 中日新聞・東京新聞の社説に近藤克則先生のコメントが掲載されました。社説「健診の基準 緩んでも安堵は禁物」5月2日付
- ⑧ NHK の「あっぱるワイド(青森県域放送)」 「おはよう日本(東北地方向け)」において、セルフネグレクトに関して齊藤雅茂先生がコメントし、放映されました。それぞれ 4 月 16 日, 4 月 21 日

6 研究費採択のお知らせ

- ・研究代表者: 近藤尚己(東京大学)
厚生労働科研 課題番号: H26—長寿—一般—006
研究課題: データに基づき地域づくりによる介護予防対策を推進するための研究
- ・研究代表者: 鶴川重和(北海道大学)
ネスレ栄養科学会議 2014 年度研究助成
研究課題: Malnutrition in elderly Japanese residents living in a rural northern community: a cross-sectional study on the influence of individual factors and social capital
- ・谷友香子(東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻健康教育・社会学分野)さんが
長寿科学振興財団のリサーチレジデントに採択されました。
- ・研究代表者: 齊藤雅茂(日本福祉大学 社会福祉学部)
文部科学省基盤研究(B)一般 H26~H29 課題番号: 26285138
研究課題: 高齢者の社会的孤立の重層的な予防策にむけた個人・地域環境要因の解明
- ・研究代表者: 菖蒲川由郷(新潟大学大学院医歯学総合研究科)
文部科学省基盤研究(C) 課題番号: 26460828
課題名: 地理情報システムと住民アンケートによる都市 vs 農村の健康の社会的決定要因の解明
- ・研究代表者: 岡田栄作
文部科学研究費若手研究B 課題番号 26780328
課題名: 地域包括ケアシステム構築のための地域診断活用支援プログラムの開発
- ・引地博之: 日本疫学会 第 20 回国際疫学会への旅費補助対象者
申請課題 "Does participation in community health salons help shrink health disparity?
Results of a 5-year-long intervention study by JAGES project in Taketoyo town, Japan."
- ・公益財団法人 長寿科学振興財団 平成26年度長寿科学研究者支援事業
研究代表者名: 佐々木由理(千葉大学 予防医学センター 特任助教)
研究課題名: 高齢者の属性や社会環境別にみたうつ症状に関する研究

7 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

- ・JAGES 研究会今後の予定 ※変更になることがあります。
 - 7 月 13 日(日) 東京大学 本郷キャンパス
 - 8 月 5 日(火)~6 日(水) JAGES 研究会 千葉大学亥鼻キャンパス
 - 9 月 27 日(土) 日本福祉大学(名古屋)
 - 10 月 26 日(日) 東京大学(東京)
- ・保険者向け報告会(全体)
 - 7 月 22 日(火) 日本福祉大学 名古屋キャンパス 8F
- ・200 自治体ベンチマークの報告会
 - 8 月 1 日(金) 東京大学 本郷キャンパス

・第 55 回社会医学会総会

【日程】2014 年 7 月 12 日(土)～13 日(日)

【場所】名古屋大学

<http://www.miyao.i.is.nagoya-u.ac.jp/55shakai-igaku/>

・大阪大学公衆衛生セミナー: 日本における健康の社会決定要因

(The Osaka Public Health Seminar: Social Determinants of Health in Japan)

(疫学各論)

【日程】2014 年 8 月 8 日(金)、9 日(土)、10 日(日)

【場所】大阪大学 最先端医療イノベーションセンター棟

<http://www.msc.med.osaka-u.ac.jp/info/event.html>

ニューズレター第 36 号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせ・情報提供はこちら<k-michi*n-fukushi.ac.jp
(伊藤)>までお知らせください(ご連絡の際は*を@に変更して下さい)。

ニューズレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

発行元: 健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因—社会疫学の可能性」(2009 年 3 月 14 日開催)及び、『健康の社会的決定要因』を巡る国際的動向(2011 年 12 月 23 日開催)、国際ワークショップ「社会疫学と老年学における国際共同研究の可能性」(2012 年 1 月 8 日開催)にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリスト web 登録をいただいた方に配信しています。